

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103953
法人名	有限会社やわらぎ
事業所名	グループホームぼうさんのおうち
所在地	松山市松前町1丁目2-8
自己評価作成日	平成21年6月23日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年7月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

本人の意思の尊重に努め、日々の生活の中で「笑い」や「楽しみ」を感じる場面を増やせるよう、行事の企画、日常生活の中での会話などに努めている。
利用者との人間関係の構築に努め、利用者の思いに寄り添うことを許して頂けるよう努力する

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

ご本人が大事にされていることを、職員も一緒に大切にされており、ご両親の写真等にお花を飾る等されていた。又、利用者個々に事業所から贈った「感謝状」が居室に飾られており、利用者個々の事業所の中での心地よい居場所作りへの配慮がなされていた。
一泊二日で道後の在宅支援センターに泊まりに行かれたり、外出に出かけることもある。又、新聞で情報を見つけて、観劇にも出かけられました。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 株式会社 やわらぎ

(ユニット名) グループホーム ぷうさんのおうち

記入者(管理者)

氏名 越智美代子

評価完了日

平成21年6月23日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			地域密着型サービスの意義を踏まえた理念ではなく、事業所独自の理念を作り実践している。	
			(外部評価)	
				事業所では、地域の方々に事業所のことをさらに知っていただきたいと考えておられる。地域の中の事業所として、どのようなことを目指しているのか、ということを示し実践につなげていかれてほしい。
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			日常的な交流は、なかなか難しいが、町内の行事には参加している。また、近隣のスーパーにはパンフレットを置かせてもらったり、利用者と一緒に買い物に出掛けなるべく交流している。	
			(外部評価)	
				管理者は、「利用者が外部者と交流することで笑顔が増える」と感じておられ、今後も事業所と地域、外部の方達とのつながりを大切にしていきたいと考えておられた。又、事業所は市内への移転を決めておられ、今後も新しい場所での地域との関係作りを積極的にすすめていかれてほしい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			運営推進会議、月2回の喫茶店、ボランティアの募集を試みているが参加人数が少なく、地域の人々に理解や支援の方法を活かせていない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 職員会議での報告、利用者の対応の難しさを2ヶ月に1回の運営推進会議で話している。そこで出た意見を参考にし、知識、技術向上のため研修会等に参加し、サービス向上につなげている。	
			(外部評価) 会議には職員も参加し、議題等とともに相談し決めておられる。行事の報告やその際の利用者の感想を公表されたり、民生委員の方や地域包括支援センターの方等、いろいろな立場の方の役割や活動等を説明いただいた。又、ご家族からケアへの意見をいただいたり、知見者からも取り組みへのアドバイスをいただいている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 地域包括支援センター主催の連絡会に参加し、市町村からの情報収集、質問などの意見交換を行い、協力関係を築くように取り組んでいる。	
			(外部評価) 市の担当者の方と、生活保護受給者の生活や看取りの支援について、相談されている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしないようにスタッフ間で話し合いケアを行っているが、夜間はスタッフが一人のため、やむをえず施錠をしている。	
			(外部評価) 身体拘束については、職員同士でケアについてチェックし合うようにされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>法律について学ぶ機会がない。虐待についてはないが、日々の業務の中で身体的、精神的虐待にならないように、努力をし、不安に思ったこと悩んでいることがあればスタッフ間で話し合っている。</p>	
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>必要性は感じているが、学ぶ機会を持っていない。</p>	
9		<p>契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>契約時に必ず説明し、家族のおられない利用者に対してもその人にわかりやすい言葉で説明している。また改訂があればその都度書面や連絡を取り説明を行っている。</p>	
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>面会時での家族からの意向の収集を行い、個人にあった援助を行っている。また、ホームより定期的に自社新聞を発刊し家族に送付している。契約時に公的機関への苦情の窓口があることを伝えている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族の来訪時やお電話で意見を聞いておられる。ご家族も行事に参加され、他の利用者とのおしゃべりやかわりを楽しまれる方もいる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			月に1回の職員会で意見交換を行ったり、他提案があれば随時聞き入れている。	
			(外部評価)	
			職員の提案で敬老会の行事時、時代劇の寸劇をされて、利用者やご家族も一緒に劇に参加され、ともに楽しまれた。行事については年間計画を立てておられ、前年の反省をもとに「より利用者を楽しんでもらえるよう」職員で検討をされている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			全て出来ているわけではないが、なるべくできるように努めてくれている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			事業所内で新人研修や勉強会を開くこともある。また、希望する研修があれば勤務も調節している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			県グループホーム協会主催の相互訪問の参加、今年度より他グループホームとの合同研修会を年4回予定しており、事前にテーマを決め、そのテーマについて意見を出し合ったり話し合いをしている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			不満、悩み事等に対してできる限り傾聴している。また、全職員でその情報を共有し、細目な話し合いで柔軟な対応ができるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 家族が相談しやすい場になるように、コミュニケーションを図り、要望や不安なことには傾聴しよりよい関係が築けるように努力している。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人、家族の話を傾聴し、必要としている支援をくみとれるように努力している。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 利用者のできること（居室の掃除、料理手伝い、買い物、家事等）をしてもらい、感謝の気持ちを伝え、本人の役割や自信を取り戻してもらえよう努めている。また利用者の仲介に入り、いろんな人と接するようスタッフが対応している。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族とのコミュニケーションの機会が増えるように年間行事案内を送付している。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 出来るだけ本人の要望に沿えるようにしているが、馴染みの方の了解を得られないこともある。 (外部評価) 職員からご本人の様子についての報告を続けることで、ご家族との関係がすすんだということもある。利用者同士のコミュニケーションは、職員が仲介されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 挨拶や感謝の言葉、敬意を持った関わり合いが出来るような支援に努めている。また、利用者同士で口論になれば職員が仲介にはいり対応を行っている。レクリエーションで会話の少ない利用者に関わりを持ち共通の時間を持てるよう少ない職員の人数で努力している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 自社新聞や年間行事の案内を送付する際、参加して頂けるように手紙を添えている。また、電話もいれている。たまに、近くに来たからと立ち寄ってくれる家族さんもおられる。	
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 意思疎通が困難な方は、表情、体調等により意向の把握が出来るように努めている。 (外部評価) 意思の表出がむづかしい利用者や、これまでの生活歴等が知り得にくいような方もおられるが、カードを使って選んだり決めたりできる場面を作ったり、新聞等、外部の情報から興味のあることを探り、支援につなげておられる。アセスメント表は、法人で書式が決定されており、「今の不安や生活上の希望、楽しみ」等を記入するようになっている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 個々の生活歴、生活環境を本人や家族の会話の中から情報収集しているが、家族がおられない方の入所前の情報がなかなか把握できないことが多い。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) アセスメントシート、個別記録、ケアプラン等、毎日のバイタルチェック、介護記録に細かく記録し、申し送り情報共有を行っており、細やかな援助に繋がっている。本人の可能な力の見極めは、把握が難しいので他職員の対応も参考にしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	(自己評価)	<p>利用者個々の思いや意向のさらなる把握に努め、それらを取り入れたご本人がより良く暮らすための介護計画作りに向けて、取り組まれてほしい。</p>
			<p>職員会議で意見の交換を行い、本人、家族、医者、在宅医療マッサージからの意見を参考にし、それぞれの担当が利用者に介護計画について話し合い、本人の状態に合わせたケアプランの変更も行って、実践できるように取り組んでいる。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	(自己評価)	<p>毎日の記録、重要事項は連絡ノートを通じて情報の共有、意見交換を行い、連絡網の作成、介護記録の細かい内容により介護計画の見直しに活かしているが、実践の記入漏れがある場合があり、全ては活かされていない。</p>
			<p>利用者にはそれぞれ担当の職員がおり、職員会議等で話し合い、個々が計画を立て、ご家族や利用者に説明をされている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>行事、面会時、急変時、その度の説明報告し家族の意向、本人の希望等、日常の会話の中で情報収集し、職員の勤務調整を行い、可能な限り即実行へと繋げている。</p>
			<p>行事、面会時、急変時、その度の説明報告し家族の意向、本人の希望等、日常の会話の中で情報収集し、職員の勤務調整を行い、可能な限り即実行へと繋げている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	(自己評価)	<p>学生ボランティアの受入れ、消防訓練、警察官の立ち寄り、学校、地域行事の参加を行っている。また、保育園では理解し協力して頂き利用者による紙芝居のお話会を実施し交流を図っている。また、一般参加者と一緒に楽しめる企画を提案し楽しみのある一日を過ごすように努めている。</p>
			<p>学生ボランティアの受入れ、消防訓練、警察官の立ち寄り、学校、地域行事の参加を行っている。また、保育園では理解し協力して頂き利用者による紙芝居のお話会を実施し交流を図っている。また、一般参加者と一緒に楽しめる企画を提案し楽しみのある一日を過ごすように努めている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 本人や家族の意向を連携医療機関に伝えたり、毎週一 回の定期健診、緊急時の24時間連携、他の専門医療 の紹介をしてもらったりして本人の希望する医療を受 けられるようにしている。しかし、他の専門医療の希望 回数が多くて実施しにくい場合がある。	
			(外部評価) 整形や眼科、歯科等、専門医は、それぞれが納得のい く医療機関にかかることができるよう支援されてお り、職員が同行されている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 24時間連携の病院の看護師とは、馴染みの関係がで き、気軽に小さなことでも利用者さんの状態の変化を 相談し援助してもらっている。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 本人の意思確認が出来ない場合が多く、家族と直接医 師の話し合いの場を持ってもらい説明と同意に努め、 ホームと病院の話し合いの機会も設けている。入院さ れた場合には、毎日の面会を行い安心して治療が受け られるように努め、心理的な安定に繋げた。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 細かく支援事項を記入し、本人、家族の意思を確認し た書面を作成した。段階に応じてケアプランの変更も 含め家族と共同で終末期のケアが出来るように体制を 整えている。家族がおられず意思確認が困難な方につ いては、生活歴、アセスメントにより本人の意思を汲 み取り判断している。	
			(外部評価) 看取りの支援について、事業所でご家族やご本人の意 思を聞くような書面を作成されている。状態変化時 には、随時「これから先どのようにしたいか」というこ との希望を聞くようにされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			消防署の定期指導、ホーム対応での訓練を実施し緊急マニュアルを作成している。しかし、実施回数が少ないためあまり身につけていないように思われる。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			本人の避難経路の認識は全従業員周知しているが、非難可能でない利用者が多いため、地域には協力を呼びかけているが、協力の体制は難しい。	
			(外部評価)	
			消防署の協力を得て避難訓練を行っておられる。アドバースにもとづき、火元から遠い場所に集まることを決めておられた。たばこを吸われる方もあり、喫煙場所を決めておられた。	
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			申し送り介護記録等はイニシャルで対応し、利用者が特定出来ないように対応して気をつけてはいるが、職員のみでの空間が確保できないため、プライバシーを侵害してしまっていることもある。傷つけないよう言葉遣いにも心掛けているが出来ない時もある。	
			(外部評価)	
			現在は環境面の制限もあり、共用空間内で申し送り等の業務を行うことが多く、利用者個別の情報については小声で話すことに気をつけておられる。日頃、利用者の方にきつく接してしまったり感じるときには、職員の方から「ちゃんと謝る」ようにされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			本人の不安に関する訴えには、本人が分かりやすい言葉で説明し納得して頂けるようにしている。意思疎通が困難な利用者については、カードなどを使用して確認するように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	出来るだけ本人の希望に添えられるよう支援しているが、職員の勤務体制により、業務優先になってしまう場合もある。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	散髪、美容院、買い物などは、希望に応じて対応している。また、着替え時などには、服を選んでもらったり、化粧をしたりしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	調理手伝いや、食器拭き、おぼん拭きなどを可能な限り一緒に行っている。また、献立は全員がいつも好みの物を作るのは困難だが、希望を聞いたり食べれない場合は別メニューで対応もしている。	
			(外部評価)		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	食事量、水分量を把握している。少ない日は好みのものを用意し、確保できるように心掛けている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	毎食後の口腔ケアはあまり実施できていないが、入眠前には行えている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			本人の状態に合わせて、話し合いながらオムツの使用を減らせるように支援している。	
			(外部評価)	
			毎朝、乳製品を摂り、入浴時に腹部マッサージを行う等、気持のよい排泄ができるよう工夫されており、排便の個々のサイン等も察知して、できるだけトイレで排泄できるよう、支援に努力されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			ヨーグルトや牛乳等の乳製品やお茶（減肥茶）を摂取してもらうようにしている。	
			(外部評価)	
			希望に添えるように、本人の意思を尊重し、実行している。しかし、職員の少ない時などは清拭で対応したり日をずらしたりする。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			入浴時には、職員とおしゃべりを楽しまれたり、歌を歌う等、不安を感じず、ゆっくりリラックスして入ることができるよう支援されている。時には温泉に出かけ、職員と温泉を楽しまれることもある。	
			(外部評価)	
			入浴時には、職員とおしゃべりを楽しまれたり、歌を歌う等、不安を感じず、ゆっくりリラックスして入ることができるよう支援されている。時には温泉に出かけ、職員と温泉を楽しまれることもある。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			利用者の方の身体状態を把握し、対応している。温度や日中活動を工夫し、安心して、気持ちよく眠れるようにしている。	
			(外部評価)	
			利用者の方の身体状態を把握し、対応している。温度や日中活動を工夫し、安心して、気持ちよく眠れるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)	往診記録を作成し、服薬情報や症状の変化などを職員全員で共有するようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価)	掃除、洗濯たたみなどの日常生活の中で出来る事を手伝ってもらっている。また、観劇、買い物、散歩など、本人が希望される外出を出来るだけ行い、気分転換の支援を行っている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価)	職員の勤務体制により、希望に添えないこともあるが、家族の協力を得たり、日にちを変えて、出来るだけ希望に沿って外出が出来るよう支援している。	
			(外部評価)		
					一泊二日で道後の在宅支援センターに泊まりに行かれたり、外食に出かけることもある。又、新聞で情報を見つけて、観劇にも出かけ楽しまれた。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)	職員がお金を預かっているが、買い物の時などは、その方の能力に応じ、レジで支払いをしてもらったりしている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)	本人の要望があった時は、支援しているが相手方が拒否の場合は説明し、控えてもらう事もある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	場所、建物の都合により、設備的に困難な事が多く、温度、明るさなどの不満の訴えがあるが、季節の花を飾ったり、野菜を植えたり、エアコンなどで温度調節したり、出来る限りの事は行っている。	
			(外部評価)		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	共有空間が狭いため、難しい場面もあるが状況に合わせて席などを移動している。	
			(外部評価)		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	使い慣れたものや馴染みのある物を使用してもらっている。	
			(外部評価)		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	情報収集をし、一人ひとりのできることやわかることを活かせるように努めているが、見極めが難しく、過剰な援助になる場合もある。	
			(外部評価)		